

第5回 加茂川総合内水対策協議会 議事録

日 時：平成 25 年 2 月 14 日(木)10:00～11:03

場 所：美濃加茂市役所本庁舎3階第一議会委員会室

出席者：市)海老和允美濃加茂市副市長、伊藤秀樹美濃加茂市総務部長、

丹羽英治美濃加茂市技術総括部長

町)南山宗之坂祝町長、小関昇坂祝町産業建設課長

国)浅野和広木曽川上流河川事務所長、

上野広志木曽川上流河川事務所副所長

県)岩崎福久岐阜県県土整備部次長兼河川課長、近藤真章可茂土木事務所長

民)澤田嘉弘下町六自治会長(美濃加茂市)、

丹羽孝次深田一自治会長(美濃加茂市)

協議事項： 1. これまでの協議会での意見等について

2. 「加茂川総合内水対策計画（案）」について

3. 「加茂川総合内水対策計画」策定後のフォローアップについて

1. これまでの協議会での意見等について

2. 「加茂川総合内水対策計画（案）」について

事務局から説明をし「加茂川総合内水対策計画（案）」は、承認された。

3. 「加茂川総合内水対策計画」策定後のフォローアップについて

計画策定後のフォローアップについて、委員から次のような意見が出た（発言順）。

【岐阜県県土整備部次長兼河川課長 岩崎氏】

対策計画について、県として責任を持って自分たちの役割をしていきたい。

フォローアップ会議の開催時期を考える必要がある。

フォローアップをする中で、関係者のみならず住民へ進捗状況等示すことが重要であり、その情報発信の方法も考えていかなければいけない。

【坂祝町長 南山氏】

進捗状況を毎年毎年チェックしながら進めていかないと計画を立てただけになってしまふ。そのためにも、フォローアップ会議は、1回から2回は開催していただきたい。

【木曽川上流河川事務所長 浅野氏】

国としても、施策を着実に進めていくよう努めます。また、新丸山ダムの情報もこの会議の中で報告していきたい。

水害は、計画を超えるということは必ずあると思っていた方が良い。そういう対策に

は、予算等財政問題等の諸問題があり、長い年月がかかるものである。このため、この地域に起これりうる災害を想定し、対策をどうするのかという議論を深めていきたい。

【可茂土木事務所長 近藤氏】

美濃加茂市の地域防災計画も策定されるが、その中で市民との連携が謳ってある。引き続き、こういった会議を開催し、その結果を住民に情報提供していくことが必要である。

【美濃加茂市総務部長 伊藤氏】

美濃加茂市の地域防災計画（案）は、ほぼ完成しており、パブリックコメントを実施するところである。

災害時に公でできることは限られている。「自助「共助」が重要である。その地域にあつた防災訓練等を行い、住民の防災意識を高めることが被害をなくすために重要だと考える。防災計画にも加茂川内水対策についても記載しており、市としてもしっかりと対応していきたい。

【美濃加茂市副市長 海老氏】

正確な情報を、常日頃から、また災害時に提供するのが一番大事であると思うので、努めていきたい。

【美濃加茂市技術総括部長 丹羽氏】

地元説明会でも、新丸山ダムの早期着手についての意見が一番に出た。この会議の中で、ダムの進捗状況等お話をいただきながら、住民へも公表させていただきたい。